

## 丸山直文 CV

1964 新潟県生まれ、東京都在住

### 個展

|      |   |
|------|---|
| 2023 | 「HIRAKU Project Vol.14 丸山 直文 水を蹴る—仙石原—」ポーラ美術館（神奈川）  |
| 2022 | 「水を蹴る」シュウゴアーツ（東京）   |
| 2018 | 「ラスコーと天気」シュウゴアーツ（東京）  |
| 2017 | 「流」ウソンギャラリー（大邱、韓国）  |
| 2013 | 「夜みる夢を構築できるか」シュウゴアーツ（東京）  |
| 2012 | 「丸山直文展 —風をあつめて—」E&C ギャラリー（福井）   |
| 2010 | 「透明な足」シュウゴアーツ（東京）   |
| 2008 | 「丸山直文展—後ろの正面」目黒区美術館（東京）   |
| 2007 | 「Everyone has his day and some days last longer than others」Galerie Lucy Mackintosh（ローザンヌ、スイス）                            |
| 2005 | 「丸山直文—朝と夜の間」シュウゴアーツ（東京）   |
| 2004 | 「丸山直文—Weather」ガレリアミーシャ（高松）  |
| 2003 | 「丸山直文—時の温度：大きな水」シュウゴアーツ（東京）   |
| 2002 | 「丸山直文展」GALLERY ZERO（大阪）<br>「Naofumi Maruyama - Painting」Thomas Erben Gallery（ニューヨーク、アメリカ）<br>「丸山直文展：missing」ギャラリーとわーる（福岡） |
| 2001 | 「NAOFUMI MARUYAMA - Tokyo, Toys & Stories」Pruss & Ochs Gallery, Asian Fine Arts Berlin（ベルリン、ドイツ）                          |
| 2000 | 「丸山直文展」GALLERY ZERO（大阪）<br>「丸山直文—天空の光影」ハヤカワマサタカギャラリー（東京）  |
| 1999 | 「NAOFUMI MARUYAMA - Temperierte Zeit」アトリエ 村田&フレンズ（ベルリン、ドイツ）   |
| 1998 | 「丸山直文—時の温度」佐谷画廊（東京）   |
| 1996 | 「丸山直文—天空の光影」ハヤカワマサタカギャラリー（東京）<br>「丸山直文 新作ペインティング」佐谷画廊（東京）   |
| 1995 | 「丸山直文展 Drawing」ギャラリーとわーる（福岡）<br>「Naofumi Maruyama」MAT（名古屋）  |
| 1994 | 「丸山直文展」ギャラリーとわーる（福岡）  |
| 1993 | 「丸山直文展」MAT（名古屋）<br>「丸山直文展 ドローイング」なびす画廊（東京）  |
| 1992 | 「丸山直文展」モリスギャラリー（東京）<br>「丸山直文 新作展」佐谷画廊（東京）<br>「丸山直文展」ギャラリーとわーる（福岡）<br>「丸山直文展」胡椒亭（東京）                                       |
| 1991 | 「丸山直文展」村松画廊（東京）<br>「丸山直文—PINTING」INAX ギャラリー2（東京）  |
| 1990 | 「丸山直文展」青山ギャラリー（東京）  |

# ShugoArts

## 主なグループ展

|      |   |
|------|---|
| 2022 | 「DOMANI・明日展 2022-23」国立新美術館（東京）  |
| 2021 | 「眼差しに熱がこぼれる」（都美セレクション グループ展 2022）東京都美術館（東京）<br>「Next World—夢みるチカラ タグチ・アートコレクション×いわき市立美術館」いわき市立美術館（福島）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）  |
| 2020 | 「開館25周年記念コレクション展 VISION   DISTANCE いま見える景色」豊田市美術館（愛知）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）<br>「絵画のミカタ—5人のアーティストとみる群馬県立近代美術館のコレクション」群馬県立近代美術館（群馬）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）   |
| 2019 | 「タグチ・アートコレクション 球体のパレット」札幌芸術の森美術館（北海道）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）<br>「百年の編み手たち—流動する日本の近現代美術—」東京都現代美術館（東京）   |
| 2018 | 「モネ それからの100年」名古屋市美術館（愛知）／横浜美術館（神奈川）<br>「高松市美術館コレクション + 木村忠太とこぼれる光の中で」高松市美術館（香川）<br>「シュウゴアーツショー」シュウゴアーツ（東京）   |
| 2017 | 「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展」静岡県立美術館（静岡）<br>「東京藝術大学 日本画第一研究室 発表展」東京藝術大学美術館（東京）<br>「鉄道絵画発→ピカソ行き コレクションのドア、ひらきます」東京ステーションギャラリー（東京）<br>「シュウゴアーツショー 1980年代から2010年代まで」シュウゴアーツ（東京）<br>「GROUND α Collaborative Drawing—ぼくの土地にみんなで家を建てた」NADiff Gallery（東京） |
| 2016 | 「GROUND2 絵画を語る—見方を語る」武蔵野美術大学美術館図書館（東京）<br>「身も心も！現代アートに恋い焦がれて」大分県立美術館（大分）<br>「幻想へのいざない あけてみよう、芸術館のふしぎの扉」北海道立釧路芸術館（北海道）   |
| 2015 | 「北陸新幹線開業記念 お召列車と鉄道名画 ～東日本鉄道文化財団所蔵作品を中心に～」富山県水墨美術館（富山）<br>「ミラー・ニューロン 高橋コレクション展」東京オペラシティアートギャラリー（東京）<br>「モダン百花繚乱・大分世界美術館」大分県立美術館（大分）<br>「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿 SUNDAYの隣」シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー（東京）  |
| 2014 | 「絵画の輪郭」シュウゴアーツ（東京）<br>「GROUND」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（愛知）<br>「ニイガタ・クリエーション—美術館は生きている」新潟市美術館（新潟）  |
| 2012 | 「キュレーターからのメッセージ 2012 現代絵画のいま」兵庫県立美術館（兵庫）<br>「Relation: 継がれるもの—語りえぬもの」武蔵野美術大学美術館・図書館（東京）<br>「庭をめぐれば」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）<br>「DOMANI・明日展」国立新美術館（東京）  |
| 2011 | 「Pathos and Small Narratives: Japanese Contemporary Art」Gana Art Gallery（ソウル）<br>「People don't do such things！」Gallery Lusy Mackintosh（ローザンヌ、スイス）   |
| 2010 | 「椿会展2010 Trans-Figurative」資生堂ギャラリー（東京）  |

# ShugoArts

|      |   |
|------|---|
|      | 「Living with art—Contemporary Art from Japan and Taiwan」Yi & C. Contemporary Art space (台北、台湾)  |
| 2009 | 「現代美術のクラシック 1945-」新潟県立近代美術館 (新潟)<br>「結びあう影」ヴァンジ彫刻庭園美術館 (静岡)<br>「椿会展2009 Trans-Figurative」資生堂ギャラリー (東京)<br>「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」埼玉県立近代美術館 (埼玉)  |
| 2008 | 「ネオテニー・ジャパン—高橋コレクション」鹿児島県霧島アートの森 (鹿児島) 札幌芸術の森美術館 (北海道)、上野の森美術館 (東京)、新潟県立近代美術館 (新潟)、秋田県立近代美術館 (秋田)、米子市美術館 (鳥取)、愛媛県美術館 (愛媛) 巡回<br>「TAMA VIVANT II 2008 イメージの種子 美術が発芽するとき」多摩美術大学 (東京)<br>みなとみらい駅地下3階コンコース (横浜)<br>「椿会展2008 Trans-Figurative」資生堂ギャラリー (東京)<br>「越後の花鳥風月」まつだい「農舞台」ギャラリー (新潟)<br>「Comme des betes. Ours, cochon, chat & Cie」Musee cantonal des Beaux-Arts (ローザンヌ)<br>「画家たちの青春」新潟県立近代美術館 (新潟)                     |
| 2007 | 「『現代絵画の展望』展—それぞれの地平線」Breakステーションギャラリー／旧新橋停車場鉄道歴史展示室 (東京)<br>「Everybody has his day and some days last longer than others」Galerie Lucy Mackintosh (ローザンヌ、スイス)<br>「水のかたち」茨城県立近代美術館 (水戸)<br>「水の情景—モネ、大観から現代へ」横浜美術館 (横浜)<br>「美術館に行こう！-ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」ビューフェ美術館 (静岡)<br>「ポートレート・セッション」広島市現代美術館 (広島)<br>「ポートレート・セッション @ナディッフ」ナディッフ本店 (東京)<br>「「森」としての絵画：「絵」のなかで考える」岡崎市美術博物館 (愛知)<br>「DOMANI・明日 2007」損保ジャパン東郷青児美術館 (東京) |
| 2006 | 「絵をかく人々のチャリティー展 2006」ギャラリーかれん (神奈川)<br>「ベルリン—東京」Neue Nationalgalerie (ベルリン、ドイツ)<br>「MOT コレクション あなたのいるところ／コラージュの世界」東京都現代美術館常設展示室 (東京)  |
| 2005 | 「西から東から」シュウゴアーツ (東京)<br>「A MUSE LAND 2006 Sweet Memories」北海道立近代美術館 (北海道)<br>「Skisport in der bildenden Kunst」Schloss Mainau, Insel Mainau (ドイツ)<br>「ユートピアを探しに—想像力の彼方へ」新潟県万代島美術館 (新潟)<br>「summer show」シュウゴアーツ (東京)<br>「秘すれば花—東アジアの現代美術」森美術館 (東京)<br>「光と影の彼方に—まなざし・記憶・希望」北海道立釧路芸術館 (北海道)<br>「Le invasioni barbariche」Galleria Continua (サン・ジミニャーノ、イタリア)   |
| 2004 | 「絵をかく人々の集い展 2」ギャラリーかれん (神奈川)<br>「TAKE OUT COLLECTION 2004」青山スパイラル (東京)<br>「開館記念 モダン・マスターズ&コレクション」金沢 21 世紀美術館 (金沢)<br>「You will never walk allone」Kunst und Sport (ドイツ)  |

# ShugoArts

|      |   |
|------|---|
|      | 「新潟の作家 100人展—新潟の美術 2004」新潟県万代島美術館（新潟）<br>「ギャラリーからの提案」シュウゴアーツ（東京）  |
| 2003 | 「セカイノミカタ」ギャラリー覚（東京）<br>「Der Rest der Welt」Neuffer am Park（ピルマゼンス、ドイツ）<br>「ギャラリーからの提案」シュウゴアーツ（東京）<br>「絵をかく人々の集い展」ギャラリーかれん（神奈川）<br>「ハピネス：アートにみる幸福への鍵」森美術館（東京）<br>「SILVER LINE」桜華書林（長野）<br>「PAINTINGS」シュウゴアーツ（東京）<br>「PAPER WORKS」シュウゴアーツ（東京）<br>「いろ・かたち・さまざまな表現」新潟県立万代島美術館（新潟）<br>「ギャラリーオープン展」シュウゴアーツ（東京）<br>「DOMANI・明日」損保ジャパン東郷青児美術館（東京） |
| 2002 | 「2002 台北ビエンナーレ：世界劇場」台北市立美術館（台北、台湾）<br>「現代日本の水彩表現—にじみ、ぼかし、重ね、線」渋谷区立松濤美術館（東京）<br>「ベストセレクションII～夢のつづき～」マサシ・ヤマギャラリー（東京）  |
| 2001 | 「グローバルヴィジョン—1980年以降の美術」東京都現代美術館（東京）<br>「GALLERY'S DEBUT」RICE GALLERY by G2（東京）  |
| 2000 | 「Junge Kunst aus Tokyo und ihre Peripherie」Prüss & Ochs Gallery / Asian Fine Arts Berlin（ベルリン、ドイツ）<br>「CONTINENTAL SHIFT」ルートヴィヒ・ファーラム（アーヘン、ドイツ）他<br>「artists of the gallery」Murata & Friends（ベルリン、ドイツ）<br>「22人のアーティストによる佐谷画廊・銀座クロージングショー」佐谷画廊（東京）<br>「-scape：丸山直文 前沢知子 畠山直哉」ハヤカワマサタカギャラリー（東京）   |
| 1999 | 「KÜNSTLER FÜR KINDER」ベルリン・ユダヤ博物館（ベルリン、ドイツ）<br>「Painting for Joy: New Japanese Painting in 1990s」国際交流フォーラム（東京）他世界巡回<br>「Y's collection—RURE」TIME & STYLE（東京）<br>「Berlin - Tokyo, Tokyo - Berlin」（with Michaela Drenhaus）Galerie Atelieretage<br>Oberschöneweide（ベルリン、ドイツ）<br>「MOT アニュアル1999 ひそやかなラディカリズム」東京都現代美術館（東京）                    |
| 1998 | 「第15回平行芸術展：イメージ・ストーリー」エスパスOHARA（東京）<br>「Photo: Maria Eichhorn 丸山直文 Joseph Grigely」ハヤカワマサタカギャラリー（東京）<br>「アート／生態系：美術表現の『自然』と『制作』」宇都宮美術館（栃木）   |
| 1996 | 「写楽再見」国際交流基金フォーラム（東京）他世界 巡回<br>「女性の肖像—日本現代美術の顔」渋谷区立松濤美術館（東京）<br>ハヤカワマサタカギャラリー（東京）<br>「ダイエットする芸術 アーティストによる 100点の腕時原画展」JR 大阪セルヴィスギャラリー（大阪）<br>「TOYAMA NOW '96：第6回富山国際現代美術展」富山県立近代美術館（富山）<br>「匍匐は跳躍—creeping is leaping」なびす画廊（東京）<br>「COLLECTION NW - painting」ギャラリー NW ハウス（東京）  |
| 1995 | 「視ることのアレゴリー 1995：絵画・彫刻の現在」セゾン現代美術館（東京）<br>「SEVEN PAINTER'S WORKS」ギャラリーKURANU-KI（大阪）   |
| 1994 | 「横浜・上海友好都市提携20周年記念 横浜現代美術展～横浜之風」上海美術館（上海、中国）  |

# ShugoArts

|      |   |
|------|---|
|      | <p>「絵画の構造—思考する色彩」文房堂ギャラリー（東京）</p> <p>「TAMA VIVANT '94」多摩美術大学（東京）</p> <p>「5人展」MAT（名古屋）</p> <p>「アジアの創造力」広島市現代美術館（広島）</p> <p>「斉藤記念川口現代美術館会館記念コレクション展 Part2」斉藤記念川口現代美術館（埼玉）</p> <p>「よこはまの作家たち'94—冒険する表現—」横浜市民ギャラリー（横浜）</p> <p>「館勝生・丸山直文展」ギャラリー白（大阪）</p> <p>「現代美術の展望 VOCA展'94-新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京）</p> <p>「第8回インドトリエンナーレ」National Academy of Art（ニューデリー、インド）</p> <p>「金曜日のまれ女たち その3」なびす画廊（東京）</p> <p>「Dialogue」ギャラリー NW ハウス（東京）</p> |
| 1993 | <p>「Contemporary Paintings from Singapore and Japan」国際交流基金 ASEANカルチャーセンター（東京）</p> <p>「第12回平行芸術展 全面展開期の絵画—II イメージのついで」エスパス OHARA（東京）</p> <p>「大野浩志・丸山直文 二人展」MAT（名古屋）</p> <p>「アブソリュート・ビギナーズ展」ギャラリー16（京都）</p> <p>「丸山直文・児玉靖枝二人展」ギャラリーKuranuki（大阪）</p>  |
| 1992 | <p>「ドローイング倉庫展」ヒルサイドギャラリー（東京）</p> <p>「表層の冒険 vol.3 丸山直文」モリスギャラリー（東京）</p> <p>「TEMPVS VICTUM—MTM コレクションの 80 年代」エスパス OHARA（東京）</p> <p>「現代美術への視点：形象のはざまに」東京国立近代美術館（東京）／国立国際美術館（大阪）</p> <p>「絵画の展望 Part3」ギャラリー古川（東京）</p> <p>「第1回トランスアート・アニュアル『ペインティング／クロッシング』展」横浜ガレリアペリーニの丘ギャラリー（神奈川）</p> <p>「some aspects of painting」ギャラリー白（大阪）</p>   |
| 1991 | <p>「The Changing Present Painting as Prescription」青山ギャラリー（東京）</p> <p>「三人展」青山ギャラリー（東京）</p> <p>「未来のクロニクル」メモリーズギャラリー（愛知）</p> <p>「色相の詩学展—現代絵画・平面からのメッセージ」川崎市民ミュージアム（神奈川）</p> <p>「おぼつかなさの現在—自己規定性の絵画」青山ギャラリー（東京）</p> <p>「ドローイング倉庫展」ヒルサイドギャラリー（東京）</p>  |
| 1990 | <p>「アートフェスティバル MITO・10月展」水戸芸術館現代美術センター（茨城）</p> <p>「Bゼミ展—市民ギャラリー」横浜市民ギャラリー（神奈川）</p>  |
| 1989 | <p>「常設展」ヒルサイドギャラリー（東京）</p> <p>「Bゼミ展—「B」」横浜市民ギャラリー（神奈川）</p> <p>「HB Show」ギャラリー現（東京）</p>   |
| 1988 | <p>「Bゼミ展—ガンガン」横浜市民ギャラリー（神奈川）</p>  |

# ShugoArts

## 受賞

|      |               |
|------|---------------|
| 2008 | 芸術選奨文部科学大臣新人賞 |
|------|---------------|

## パブリックコレクション

|                   |
|-------------------|
| 金沢 21 世紀美術館（石川）   |
| いわき市立美術館（福島）      |
| 北九州市立美術館（福岡）      |
| 北海道立釧路市芸術館（北海道）   |
| 東京都現代美術館（東京）      |
| 新潟市美術館（新潟）        |
| 大分県立美術館（大分）       |
| 資生堂アートハウス（静岡）     |
| 高松市美術館（香川）        |
| 国際交流基金（東京）        |
| 群馬県立近代美術館（群馬）     |
| 国立国際美術館（大阪）       |
| 東京国立近代美術館（東京）     |
| 新潟県立近代美術館（新潟）     |
| 東京ステーションギャラリー（東京） |
| 豊田市美術館（愛知）        |
| UBS 銀行            |
| ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡）   |

## 出版

|      |  |
|------|--|
| 2019 | 丸山直文「絵の下にあるもの」、『絵画組成 絵具が語りはじめるとき』武蔵野美術大学出版局      |
| 2008 | 「丸山直文全作品集 1988-2008」求龍堂                          |
| 2007 | 「丸山直文作品集 Naofumi MARUYAMA: go out go home」リトル・モア |